

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和7年4月～6月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況 (%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				前期（令和7年1～3月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				今期（令和7年4～6月）と比べた 来期（令和7年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	42.9	30.4	26.8	16.1	53.6	23.2	23.2	30.4	23.2	51.8	25.0	△ 1.8
2 採 算	30.4	44.6	25.0	5.4	29.1	54.5	16.4	12.7	14.5	61.8	23.6	△ 9.1
3 仕 入 単 価	83.9	16.1	0.0	83.9	62.5	37.5	0.0	62.5	55.4	44.6	0.0	55.4
4 従 業 員 数					5.9	88.2	5.9	0.0	3.8	94.2	1.9	1.9
5 資 金 繰 り					9.8	68.6	21.6	△ 11.8	9.6	65.4	25.0	△ 15.4

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況 (%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	23.2	51.8	25.0	-1.8		41.1	44.6	14.3	26.8		1.8	75.0	17.9	△ 16.1

2、経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	23.3	15.0	5.0	43.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	5.0	5.0	11.7	21.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	5.0	1.7	6.7	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	1.7	8.3	10.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.0	1.7	6.7	13.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	30.0	16.7	16.7	63.3	11 需 要 の 停 滯	11.7	10.0	1.7	23.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	6.7	6.7
6 人 手 不 足	3.3	6.7	6.7	16.7	13 そ の 他	3.3	1.7	3.3	8.3
7 人 件 費 の 増 加	5.0	18.3	3.3	26.7	無 回 答	13.3	18.3	28.3	—

注) 「全体」＝（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				前期（令和7年1～3月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				今期（令和7年4～6月）と比べた 来期（令和7年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	75.0	12.5	12.5	62.5	62.5	12.5	25.0	37.5	25.0	50.0	25.0	0.0
2 採 算	62.5	37.5	0.0	62.5	57.1	28.6	14.3	42.9	14.3	57.1	28.6	△ 14.3
3 仕 入 単 価	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	50.0	0.0	50.0	75.0	25.0	0.0	75.0
4 従 業 員 数					12.5	87.5	0.0	12.5	12.5	87.5	0.0	12.5
5 資 金 繰 り					14.3	71.4	14.3	0.0	14.3	57.1	28.6	△ 14.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	25.0	62.5	12.5	12.5		50.0	37.5	12.5	37.5		0.0	87.5	12.5	△ 12.5

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	11.1	11.1	0.0	22.2	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.1	0.0	22.2	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	11.1	0.0	0.0	11.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	33.3	11.1	11.1	55.6	11 需 要 の 停 滞	11.1	11.1	0.0	22.2
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	22.2	22.2
6 人 手 不 足	0.0	11.1	0.0	11.1	13 そ の 他	0.0	0.0	22.2	22.2
7 人 件 費 の 増 加	11.1	44.4	11.1	66.7	無 回 答	11.1	11.1	11.1	—

注) 「全体」＝（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 業界の動向としては米子の方で2件の倒産。現状の課題は営業の人手不足。他方、有休の取得率増加による稼働時間減少&外注費増加など働き方改革の弊害が表面化している。
- ・ 原材料の仕入れを下げたいが、中々良い方法がない。2名退職者が出たので対策が必要。
- ・ 値上げを順次進めたが、売上が減った取引先もある。米の価格も上がっているので食費を抑えていることも影響していると思われる。
- ・ DX専門家（商工会議所の専門家派遣制度を利用）の助言により、お得意先へ発注方法の変更をお願い。製造計画が立てやすくなり、業務効率化につながった。

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				前期（令和7年1～3月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				今期（令和7年4～6月）と比べた 来期（令和7年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	37.5	25.0	37.5	0.0	62.5	25.0	12.5	50.0	12.5	50.0	37.5	△ 25.0
2 採 算	37.5	37.5	25.0	12.5	62.5	25.0	12.5	50.0	12.5	50.0	37.5	△ 25.0
3 仕 入 単 価	87.5	12.5	0.0	87.5	37.5	62.5	0.0	37.5	50.0	50.0	0.0	50.0
4 従 業 員 数					0.0	87.5	12.5	△ 12.5	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り					12.5	75.0	12.5	0.0	12.5	62.5	25.0	△ 12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	25.0	50.0	25.0	0.0		62.5	37.5	0.0	62.5		12.5	25.0	62.5	△ 50.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	37.5	12.5	12.5	62.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	12.5	0.0	12.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	12.5	0.0	12.5	25.0
4 原 材 料 高 及 び 不 足	25.0	12.5	25.0	62.5	11 需 要 の 停 滞	12.5	25.0	0.0	37.5
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	12.5	25.0	12.5	50.0	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	0.0	12.5	37.5	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 資材の高騰により建設費が上昇し続けている。これが原因となり、新築着工件数やリフォーム案件も減少している。新しい営業スタイルと不動産取引などにより売上確保に努める。
- ・ 外注する大工さんが不足しており受注機会を損失している。加えて、大工さんからは人件費が安いと言われている。
- ・ 建築基準法の改正により、住宅建築の審査が停滞していることが受注の減少につながっている。
- ・ 公共工事の物件が少なく、受注できるか分からない。

《卸 ・ 小 売 業》	
1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況	(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				前期（令和7年1～3月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				今期（令和7年4～6月）と比べた 来期（令和7年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	43.8	31.3	25.0	18.8	43.8	25.0	31.3	12.5	6.3	62.5	31.3	△ 25.0
2 採算	31.3	43.8	25.0	6.3	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	6.3	62.5	31.3	△ 25.0
3 仕入単価	81.3	18.8	0.0	81.3	68.8	31.3	0.0	68.8	56.3	43.8	0.0	56.3
4 従業員数					13.3	86.7	0.0	13.3	0.0	93.3	6.7	△ 6.7
5 資金繰り					12.5	68.8	18.8	△ 6.3	0.0	75.0	25.0	△ 25.0

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	25.0	50.0	25.0	0.0		37.5	50.0	12.5	25.0		0.0	93.3	6.7	△ 6.7

経営上の問題点	1 位	2 位	3 位	全体	経営上の問題点	1 位	2 位	3 位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	27.8	5.6	0.0	33.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	5.6	11.1	16.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	5.6	0.0	5.6	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	27.8	27.8
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.6	0.0	16.7	22.2
4 原 材 料 高 及 び 不 足	38.9	22.2	5.6	66.7	11 需 要 の 停 滞	5.6	11.1	0.0	16.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	5.6	5.6
6 人 手 不 足	5.6	5.6	5.6	16.7	13 そ の 他	5.6	5.6	0.0	11.1
7 人 件 費 の 増 加	0.0	22.2	5.6	27.8	無 回 答	11.1	16.7	22.2	—

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 今年は例年より早く6月から猛暑で夏商品が売れており、嬉しい誤算で売上が伸びている。商品販売以外の新たな手立てを進める予定。
- ・ 市内競合店の激化。人気商品や希少価値の高い商品は価格転嫁しても売れるが、定番商品は売れなくなるため、すべての商品に価格転嫁することが出来ない。アメリカから仕入れている業者にトランプ関税の影響が心配している。
- ・ 物価高により、客数や単価が落ち込んだ時もあったが、季節限定商品や新商品によりリピート率や客単価が増えつつあるので、季節ごとに新たな取組みを行っていく方針。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				前期（令和7年1～3月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				今期（令和7年4～6月）と比べた 来期（令和7年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	16.7	66.7	16.7	0.0	41.7	41.7	16.7	25.0	33.3	50.0	16.7	16.7
2 採 算	8.3	75.0	16.7	△ 8.3	8.3	83.3	8.3	0.0	16.7	75.0	8.3	8.3
3 仕 入 単 価	75.0	25.0	0.0	75.0	58.3	41.7	0.0	58.3	41.7	58.3	0.0	41.7
4 従 業 員 数					0.0	90.9	9.1	△ 9.1	9.1	90.9	0.0	9.1
5 資 金 繰 り					0.0	72.7	27.3	△ 27.3	9.1	72.7	18.2	△ 9.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	16.7	83.3	0.0	16.7		41.7	50.0	8.3	33.3		0.0	90.9	9.1	△ 9.1

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	0.0	15.4	15.4	30.8	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	7.7	7.7	7.7	23.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	7.7	7.7	15.4	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原 材 料 高 及 び 不 足	23.1	7.7	0.0	30.8	11 需 要 の 停 滞	15.4	7.7	0.0	23.1
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	7.7	7.7
6 人 手 不 足	0.0	0.0	0.0	0.0	13 そ の 他	7.7	0.0	0.0	7.7
7 人 件 費 の 増 加	7.7	7.7	0.0	15.4	無 回 答	38.5	46.2	61.5	—

注) 「全体」=（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ ガソリン代や諸々の経費が物価高により上がっている。県内でも競争が激化している。
- ・ 他店が値上げをしているので、当店も値上げを検討している。
- ・ これまでは人件費の上昇分を価格に反映できないでいたが、今後は価格転嫁を行いたいと考えている。
- ・ これまで価格転嫁せずに頑張ってきたが、4月から消費税10%分を上乗せした。しかし、お客さんの予約状況に全く影響は見られず。市内で同業者も増えているが、その影響もない。
- ・ 物価高による節約志向により、顧客単価が減少している。引き続き経費節減につとめて価格は維持する。

《飲 食 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				前期（令和7年1～3月）と比べた 今期（令和7年4～6月）の状況				今期（令和7年4～6月）と比べた 来期（令和7年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	50.0	8.3	41.7	8.3	66.7	8.3	25.0	41.7	41.7	41.7	16.7	25.0
2 採 算	25.0	25.0	50.0	△ 25.0	33.3	50.0	16.7	16.7	25.0	58.3	16.7	8.3
3 仕 入 単 価	100.0	0.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	83.3	58.3	41.7	0.0	58.3
4 従 業 員 数					0.0	88.9	11.1	△ 11.1	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り					11.1	55.6	33.3	△ 22.2	20.0	50.0	30.0	△ 10.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	25.0	16.7	58.3	-33.3		25.0	41.7	33.3	-8.3		0.0	81.8	18.2	△ 18.2

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	41.7	33.3	0.0	75.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	8.3	8.3	16.7	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	8.3	0.0	8.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	25.0	25.0	50.0	100.0	11 需 要 の 停 滞	16.7	0.0	8.3	25.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	0.0	16.7	16.7	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	8.3	16.7	0.0	25.0	無 回 答	0.0	0.0	8.3	—

注) 「全体」=（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 以前の料亭のような宴会需要はなくなった。原材料が高いうえ、それ自体なくなる可能性もある。人手はこの先もないので少数で出来ることをやる。
- ・ 値上げをしたが、来客数は変わらず売上は確保できている。しかし、物価高は止まらないし、人件費も高い。苦しい状況だが、地域に必要とされる場所になるように頑張りたい。
- ・ この先とても不安です。価格への転嫁をするのも迷っています。
- ・ アルコール、特にビールの値上がりしている。始めたころはビールの樽が七千円台だったが、今では1万円近くにまで上がっている。ほんとに努力をして仕入れを抑えている。